

警察庁によると、2025年の行方不明者届受理数は8万486人(前年比2077人減)で、このうち認知症に関わる行方不明者は1万7345人(前年比776人減)と2年連続で減少しました。

認知症行方不明者をなくそう

都道府県別では、神奈川県が1898人と最多、次いで大阪が1857人、このほか東京1005人、福岡649人などとなっています。早期発見には

①所在確認・死亡確認された認知症行方不明者のうち、約95%が受理から3日以内に所在確認されており、迅速な発見活動が重要②GPS機器等の活用で約

85%が受理当日に所在確認されており、

同機器等は有効③約半数が民間通報を端緒に発見されており、地域社会における迅速な立ち上がりなどが必要です。

防犯一口メモ